



新年のご挨拶 有松まちづくりの会 会長 中瀨 豊

新年あけましておめでとうございます。

旧年中は、たくさんのご縁をいただき感謝しております。

本年は午年であり、勢いよく駆け出したり飛躍したりできる年と言われています。新しい事に挑戦する勇気や前へ進む力を授けてくれそうな一年になればと思います。

皆様と共に、有松の町を笑顔と充実で満ち溢れる年にできれば幸いです。
本年もどうぞお力添えをよろしくお願いします。

まちの風景



紅葉のかえで道

有松まちづくりの会役員会 (12月1日)

緑区主催の婚活イベントが大盛況のうちに終了したと、緑区役所の担当者より嬉しい報告がありました。また、東海道の街路灯や路面の保持について、名古屋市歴史まちづくり課と相談しつつ長いスパンで見守っていく事としました。

町並み保存地区内の建物所有者に向けて、修理などには必ず届け出が必要である旨のお知らせを、年度内に全戸配布することとしました。

緑区de縁むすび 於:校会館ほか

緑区主催恋活イベント (11月30日)

定員の約4倍の応募があったとか。校会館には独身男女各25名が真剣な眼差しで話に耳を傾けていた。熱気がすごい。1対1のトークの後、男性が席を移っていく。絞り染めのワークショップや指定文化財「岡家」への移動・作品見学、ラストはモスアリマツでの有松スイーツ。出会いの場がちりばめられている。最初に"恋活成功の3つのポイント"(笑顔が一番・積極的に動く等)が示された。アピール方法は、いいね♡ボタンを押したり連絡先を送ったり…と、オジサン記者は我が子を見る眼差しになっていた。頑張れ！

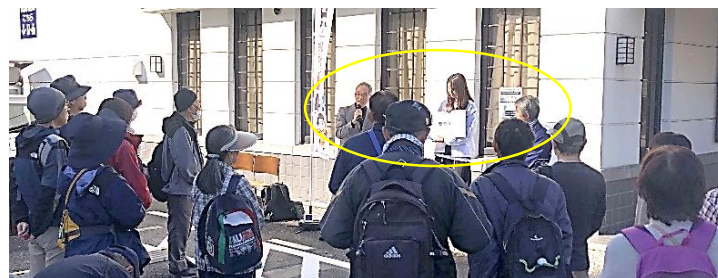


参加者の絞り染め作品:岡家

街道ハイキング 有松へようこそ (11月30日)

鳴海駅からゴール有松駅の名鉄ハイキング。途中大高緑地でサムライ・ニンジャフェスティバル開催※。

今回は「時を旅する一愛知の街道」の作者安田勝さんと有松あないびとの会との対談ミニガイド付きで、皆さん解説に耳を傾けておられました。



※ サムライ・ニンジャフェスティバルでは？

会場を訪れた午後には、火縄銃実演に多くの人が集まっていた。若草山近くのブースエリアには桶狭間古戦場保存会が出店。鉄砲撃ちや甲冑試着体験が人気だ。



まちの話題から

東海TVスイッチで紹介 寿限無茶屋 (11月12日)

開業41年目を迎える寿限無茶屋に、U字工事さんが来店。歴史を感じる店内に感心され、旬の広島県産カキの入った味噌煮込みうどんを味わった。「打ちたてでなく一日寝かしたうどんを提供している」と、店主服部明治さんのこだわりも紹介されていた。インバウンド客の増大に戸惑いながらも、老舗の味を守っている。



山内武志 染め、いま (12月14日) 於:モスアリマツ

故芹沢銈介氏に師事し、型染めを学んだ山内氏は、彼ならではの生命力を感じさせるモダンな幾何学模様や伝統の和柄をアレンジしたぬくもりのある暖簾等の制作を米寿目前の"いま"も続けている。作品展示とお話会が聴衆30数名を前に行われた。



SHIBORI マスターコース特別研修始まる (12月6日~)

主催 ワールド絞りネットワークジャパン

(有)こんせい・工房遊草庵・久野染工場を会場に、プロの絞り後継技術者育成が始まった。全9回。化学染料・雪花絞り/天然染料・伝統の絞り/形状記憶・ファッションなどを順次学ぶ。訪問した8日、午前中は講義。国際絞り会議(1992)以降のファッションにおける絞りがテーマ。参加者4名は記録を取り質問もたくさん…製品見本が示されると目を輝かせていた。久野剛資講師の「産業人として」の視点を磨いて欲しい旨の指摘が記憶に残る。午後は新素材の加工と先端染色。写真はアルミ製の円筒を使っての嵐絞り実習。糸を掛けた後、片側に布地を押し縮めるのに苦労していた。



桜花学園 観光総合研究所公開講座 (12月4日)

●「地域の文化遺産が社会や人々を元気にする」 講師 松本 茂章氏

文化財をより活用する方向に進められている国の文化政策の潮流を、要領よく紹介。近年は、有形文化財だけでなく地域の文化財を広く活用する事例が見られるようになってきた。松江市のゴーストツーリズムなどが紹介された。



●「長崎居留地の歴史まちづくり ~暮らしが息づく観光地域づくり~」 講師 平山広孝氏(長崎市職員)

旧グラバー住宅や大浦天主堂を含むエリアでも維持管理コスト増加などの課題が顕在化。歴史的資源の価値を生かした持続可能なまちづくりを中心となって推進する"自称 変態公務員"が熱く語る。要点は2つ。将来像とその実現のための方向性を示す「グランドデザイン」策定と、官民協働で取り組みを進めるための具体例が提示された「アクションプラン」策定。有松からの参加者も少なくない。まちづくりの参考にしたい。



緑生涯学習センター緑区古道めぐり (11月20日)

緑区内の古道を歩く散策会(全6回)の第4回、有松地域での実施。旧東海道と長坂道・分かれ道を歩く。「歩いたことのない場所へ行かれてよかった」の感想どおり、参加者25名は2班に分かれ熱心に廻った。分かれ道の道標は現在有松郵便局東側に置かれてあるが、当初は右写真のように入口付近に設置されていた。このような写真を見ながら、有松あないびとの会の方の説明に参加者は耳を傾けていた。



洋館時代(1930年~1998年)の有松郵便局と道標

学びの秋

工房・実演見学付き「有松プレミアム体験きっぷ」実施の工房を訪問しました。



完成作品と展示見本

出来上がりは2割程縮小の130cm×25cm(写真左)。「フェルトストールが想像できず参加したが…近くなら毎週でも習いに通いたい」と。布地の端に絞りが施されているのは有松らしい。お店の方のさり気ない心遣いかな。

店内にはフェルトストールが数点置かれてある。一度はご見学を！

▶ 体験きっぷ① 工房ゆはたや (取材日 11月18日)

遠く千葉から参加の大塚美佐子さん。着物好き、有松絞りとフェルトの関係に大いに興味を惹かれ参加されたとか。5時間近くの初体験に満足顔。"布フェルトストールづくり"は、色を選ぶ⇒石鹼水をかけ手でこする(写真右)。摩擦で縮むが、好きな硬さで止める。

▶ 体験きっぷ② しぼりの久田 (取材日 11月22日)

体験者は岡崎からの中川順子さんと中嶋裕子さん。パンフを見て「やってみたい」と、初めての有松。藍染フェイスタオルの糸抜きです。作業工程の説明後、タオルに施されている巻上絞りの括り方を体験。お店の方の丁寧な教えでやる気もUP「欲が出てきた」と。そしてすでに染めてあるタオルから、道具を使って糸を切ります。「固く絞ってある」「花柄が現れた」の声も…工房での体験だからこそ絞りへの広い知識も得られたようだ。最後に茶室でお茶をいただきながらくつろぐ。あっと言う間に1時間が過ぎていました。



ようこそアリマツへ

豊明小学校(12月2日) 4年生54名が10班に分かれて校会館や山車会館・岡家住宅を見て廻った。見学時間は少し長めで90分、しかも1本早い電車で有松駅に到着。見学への意気込みが伝わってきた。1班5~6名と少人数なこともあり、案内役の有松あないびとの会の方へたくさんの質問をする様子も見られた。「有松は江戸時代焼けているんですね」事前学習がきちんとされていることも伝わってきました。

愛知啓成高校(12月12日) 「有松を世界遺産にするにはどうしたらいいか」を学びのテーマに、グローバル科2年生25人が4班に分かれて有松を探訪。寒い一日でしたが、あないびとの説明を克明にメモするなど熱心に学ぶ。午後は絞り体験。帰校後、班ごとにプレゼン。成果物は応募予定。探訪やインタビューの様子を民放が取材していた。(左写真)



愛知高校放送部制作の動画 愛知県代表に

中町唐子車の練習風景などを紹介する5分弱の動画。「お囃子を始めたのは」など青年へのインタビューを中心に、有松の山車文化継承の現状を取材してくださった。その着眼点が評価されたのであろう…県代表に選ばれ、秋田県での全国大会に出場されるとのこと。嬉しい限りである。動画タイトルは「夢をか継ぐ ありまつり」。



「有松たより」ご存知ですか？

これは竹田嘉兵衛氏の書庫より見つかったものです。戦時中、戦地へ赴いている有松出身の兵隊さんたちに"有松の今"を知らせ、郷里からの応援の気持ちを伝えるために「松和会」が作られた小冊子です。昭和15年(1940)から18年にかけて出版されたのですが、第1巻が不明です。第1巻の所在を含め、「有松たより」についてご存じの方は、ぜひ編集部にご一報ください。



第11回 有松福よせ雛さんぽみち

開催準備始まる (11月27日)

10年続く春の恒例行事。今回は名古屋都市センターから活動助成を頂くことが決まり、実行委員一同一層力が入っているようです。開催日程は

2月21日(土)～3月22日(日) に決定。

右写真は桜花学園大学でのもの。これまでも協働で"福よせ雛"を盛り上げてきました。5月、町の活性化に繋がる取り組みであることやリサイクル雛の作り方を伝えることから事実上のスタート。学生さんは、若い女子らしい発想で個性あふれる雛や台飾りを制作。合わせてユニークな川柳も…

有松に魅せられて②

文嶺講と出会えて 松山美津子

文嶺講に参加したきっかけは、有松に引っ越してきて1年程経った頃に、当時の町内の組長さんから文嶺講地区総代をやってくれないかと声をかけられたことです。

その頃の私は、文嶺講が何をしているのかも全く分からなかったのですが、地域のお役に立てればと即答で引き受けました。当時はコロナ禍で秋の大祭は神事のみでした。

2年目、庶務の川勝さんが一人で沢山の仕事をしていることに気付き、お手伝いを少しずつやらせていただくようになりました。そんな中仲間も増えていき、後に"水曜会"と呼ばれる集まりができてきました。

水曜会では、春季大祭・秋季大祭・元旦祭の準備だけでなく、参拝客や観光客の皆さんに楽しんでいただけるように天狗のレプリカを作ったりイベントを企画したり…おしゃべりをしながら楽しくやっています。最近"にじもっち"の着ぐるみまで作ってしまいました。(写真右上)

私個人では、頑張って練習して御朱印の一部を書かせていただいています。任期は3年、終了後も評議員として残ります。水曜会や総代の皆さんがとても優しく…引っ越ししてきて誰も知り合いがない中、頼りがいのあるお姉さま方に会えて本当に嬉しいです。

催事・行事予定

1月11日(日) 10:00 成人式 有松中学校体育館
(主催：緑区役所、有松・桶狭間・南陵学区区政協力委員会)
1月18日(日) 17:00 有松天満社文嶺講総会 中町年行司 文嶺講
1月14日(水) 8:00 東町秋葉社左義祭 東町秋葉講
9:00 左義長 有松天満社中広場 文嶺講
1月19日(月) 18:00 有松町並み相談会 有松コミセン
1月25日(日) 7:30 かえで道清掃 有松まちづくりの会
1月26日(月) 18:30 有松まちづくりの会役員会 有松コミセン
1月中旬開催 山車会館運営協議会 山車会館

発行者 中濱 豊(有松まちづくりの会 会長)

編集者 加藤明美(有松まちづくりの会 広報部長)

pegasusb@mc.ccnw.ne.jp 取材・撮影 伊藤総俊

有松まちづくりの会は新規会員を募集しています。(年会費1000円)

詳しくはホームページ又はお近くの会員までお問い合わせください。

有松まちづくりの会はホームページを公開しています。「有松のまち」で検索。

「有松かわら版」をカラーでご覧いただけます。



作業風景



にじもっち



水曜会の仲間たちと



まちの風景

東海道(山中歯科医院屋上から)

《編集後記》

先日、仲間5人でかえで道を掃き清めた。「日本で最も清潔なまち」とアーネスト・サトウに言わしめた有松。そんな言葉が脳裏に浮かんだ。今年も有松を語り伝えていきたい。